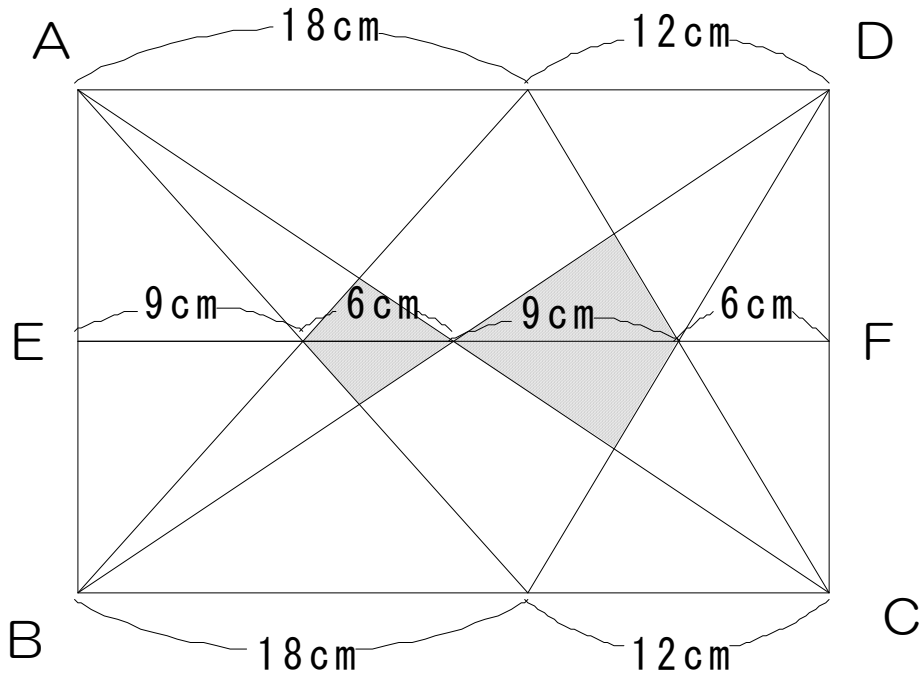


## 算数オンライン塾 5月2日の問題 解説

(1) 直線AC、BDは長方形の対角線ですから、その交点を通り、AD、BCに平行な線EFを引くとEはABの中点、FはCDの中点です。

したがって下の図のようになり、Pは底辺が6cmの三角形2つ分、Qは底辺が9cmの三角形2つ分になります。



Pの半分の三角形の高さは  $18 : 6 = 3 : 1$  より  $AE = 10 \text{ cm}$  の  $\frac{1}{1+3} = 2.5 \text{ cm}$  となるので、Pの面積は  $6 \times 2.5 \div 2 \times 2 = 15 \text{ cm}^2$  になります。

(答え)  $15 \text{ cm}^2$

(2) Qは底辺が9cmの三角形2つ分ですが、その高さは  $12 : 9$  より

$$10 \text{ cm} \text{ の } \frac{3}{4+3} = \frac{30}{7} \text{ cm} \text{ ですから、 } 9 \times \frac{30}{7} \div 2 \times 2 = \frac{270}{7}$$

よって面積比は  $15 : \frac{270}{7} = 7 : 18$

(答え)  $7 : 18$